

【全国発信記事】道東支部

令和4年 網走地区漁船 組合員大会 ー沖合底曳網ー

後継者確保・定着を図るため、労働条件の改善が必要

2月8日、13時30分から網走地区漁船組合員大会を網走漁協2階大ホールで開催した。今回も昨年に続きコロナ禍に十分に留意した上で、感染拡大防止対策（検温・手指消毒・アクリル板設置・フェイスシールド着用による飛沫感染防止・ソーシャルディスタンス）を徹底し、網走地区沖合底曳網漁船全船から船内役員を中心に人数を制限しての開催となった。

組合員大会は、はじめに清水誠道東支部長のあいさつで始まり、続いて海員組合の活動と取り組み、道内・沖合底曳網漁船の現状などを報告した。

続いて令和4年度労働協約改定要求案に関する意見交換を行い、現場組合員からは地区事情を踏まえた昨年要求項目の一部見直し意見と、後継者確保・育成・定着を図る観点から、若者が漁船員を目指すには漁船員にも働き方改革が必要で、

- ① 操業期間中の連続する休日確保
- ② 操業期間中の日曜日の全休日化
- ③ 連続操業に関する休息の確保
- ④ 賃金改定

ーなどの意見が出された。最後に、網走地区は流氷休漁中ではあるが引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止を徹底してほしいとお願いし、令和4年網走地区漁船組合員大会を終えた。